

問題1 次のプロジェクト管理に関する設問に答えよ。

＜設問1＞ ソフトウェアの開発規模を見積もる方法にファンクションポイント法がある。ファンクションポイント法ではソフトウェアの仕様から表1に示す5項目の機能を洗い出し、次の計算式でファンクションポイントを求める。表1のような仕様をもつソフトウェアのファンクションポイントはいくらになるか、解答群から選べ。ただし、補正係数を0.75とする。

ファンクションポイントは、各作業の機能数に作業の複雑さを考慮した重みづけ係数と補正係数を掛けたものの総和を計算することで求める。

表1 システムの機能と機能数及び重みづけ係数

機 能	機 能 数	重 み づ け 係 数
外部入力(入力画面等)	2	4
外部出力(出力画面、帳簿など)	1	5
外部参照(照会画面など)	3	3
内部論理ファイル	5	10
外部インターフェース	1	4

(1) の解答群

ア. 35      イ. 43      ウ. 45      エ. 57

＜設問2＞ 次のプロジェクト管理に関する記述中の   に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

プロジェクトでは、ある作業が予定より進んでいても別の作業が遅れていることがあるので、両方を併せての進捗を知る必要がある。また、プロジェクト管理では進捗状況だけでなく作業の生産性の評価も必要になる。進捗状況を定量的に分析する方法にEVM (Earned Value Management)があり、表2のような3つの価値を時系列的に比較分析する。価値の内容としてはコストや時間などがあるが、ここでは時間を価値としてとらえる。

表2 EVMの3つの指標

AC(Actual Cost)	(2)
EV(Earned Value)	(3)
PV(Planned Value)	(4)

これらの指標をもとに、進捗と生産性の評価を次のように行うことができる。

(進捗に関する評価)

EVからPVを引いた値が  の場合、進捗が予定より進んでいる。

(生産性の評価)

EVからACを引いた値が  の場合、生産性が低い。

**(2) ～ (4) の解答群**

- ア. 評価時点までに終了した総成果物に対する予定作業時間
- イ. 評価時点までに終了した総成果物に対する実作業時間
- ウ. 評価時点までに終了を予定していた総成果物に対する予定作業時間
- エ. プロジェクトの総予算

**(5) , (6) の解答群**

- ア. 負                      イ. 0                      ウ. 正